

北毛保健生協組合員現勢

2014年7月末現在
 組合員…………… 16,959人
 出資金…………… 6億6441万円
 1人平均出資金…… 39,178円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう!



発行所

北毛保健生活協同組合

〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 高野昭夫
 編集責任者 ぐらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社



140人の参加で多くの意見が交わされました

**総代班長会
 北毛保健生協を大きく強くそして
 新病院完成を見すえた支部づくり**

8月29日～30日の2日間、伊香保温泉ホテル天坊で行われた総代班長研修会は13支部、2地域94人、職員45人、講師1人、140人の参加で、大変充実した内容豊富な研修会となりました。

総代班長研修会開催

赤城支部の木暮洋子理事の司会のもと、高野理事長の挨拶に続き、中澤眞理保健組織委員長の基調報告「生協強化月間方針と総代班長、職責の役割」、西田



木暮洋子理事

英明社保委員長より「医療介護の一体改革に反対する課題」が報告され、ビデオアピール「13支部の活動と支部づくり」上映、続いて学習講演「医療福祉生協の2020年ビジョン」と題



藤谷恵三氏

して医療福祉生協連の藤谷恵三副会長が講演され、医療福祉生協の特徴を理解すること、医療福祉生協の理念「健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる」のために、地域

3回の根気強い訪問が大事

藤谷副会長の組合員拡大の講演がとも印象に残りました。

医療生協の拡大行動とオレオレ詐欺は紙一重、そこ

でまず1度目はお庭を褒め、2度目はお子さんを褒め、訪問して来たことへの不信感が無くなった3回目

内なる建設に期待

今回赤城支部からは11人が出席、その中で4人の配布者が初参加してくれました。昨年度、支部は目標を達成することが出来ませんでした。今年こそは他の支部の良いところを参考にし、多くを学び、支部に生

かす。そして地域づくりにつなげながら生協強化月間では支部目標を達成できるように頑張りたいと思います。

毛保健生協がこれから地域に根ざした病院・診療所・介護事業所として大きく発展していくために欠かすことのできない課題でした。

が生まれると思えました。みんなを支えることが大切ですか?」と心配をするものは内なる建設につながるものと思えます。

「夏の花で、5、6月には咲き終わります。この歌のせいで、夏休みにミスバシヨウが見られると勘違いして、尾瀬に来る人も居ると聞きます。さて、集団的自衛権の行使について。「現行の憲法解釈の基本的考え方、何も変わるところがない」という安倍首相の歌。この歌に感じる違和感は、「夏の思い出」の比ではありません。花の季節を勘違いしても命にかかわる事は有りませんが、安倍首相がうたう歌は、信じたり勘違いしてはいけなない歌なのです。

広島集中豪雨災害支援募金

ご協力ありがとうございます。

広島では8月19日早朝から続いた豪雨が大災害となりました。広島県広島市を中心に大規模な土砂崩れが発生し、多くの尊い人命が失われるとともに、多くの住宅が全半壊してしまいました。広島医療生協、広島協立病院でも大きな被害を受けています。いまだ復旧作業に追われている多くの方々に支援するため、総代班長研修会の中で募金を実施し、31,300円が集まりました。引き続き、窓口等で募金に取り組んでいます。

2日目は、生協強化月間を成功させるために6つの分散会に分かれ、活発な話し合いが行われました。

2日間の研修会と、夜の交流会を含めて、新病院建設成功のために生協強化月間を盛り上げ、全支部、職場で目標を達成することを確認しました。



普段見たり聞いたりする言葉に違和感を覚える事があります。例えば「そこには名も無い花が咲いていて……」という歌や、随筆などで見かける「名も無い花が風に揺れていた」という言葉。植物学者の牧野富太郎博士は「この世に名も無い花があったらそれは一大発見だ」と言っています。作曲家の團伊久磨(だんいくま)氏も「この世に名も無い花などはありません」と主張しています。もうひとつは夏の思い出という歌。「夏が来れば思い出す はるかな尾瀬 遠い空…水芭蕉の花が咲いている 夢見て咲いている……」。気象学という夏はニッコウキスゲが咲く季節なのです。ミスバシヨウは春の花で、5、6月には咲き終わります。この歌のせいで、夏休みにミスバシヨウが見られると勘違いして、尾瀬に来る人も居ると聞きます。さて、集団的自衛権の行使について。「現行の憲法解釈の基本的考え方、何も変わるところがない」という安倍首相の歌。この歌に感じる違和感は、「夏の思い出」の比ではありません。花の季節を勘違いしても命にかかわる事は有りませんが、安倍首相がうたう歌は、信じたり勘違いしてはいけなない歌なのです。

8月4〜6日

原水爆禁止世界大会広島に 参加しました

孫娘と被爆電車にのって

有馬支部 加藤 幸子

アメリカによる広島、長崎への原爆投下から69年。大会が広島で8月4日〜6



原爆ドーム前にて

広島公園で会った すずめのおじさん

加藤 小舶 (小学校4年)

2日目の分科会で広島公園に行きました。広島公園の中には、大きな川が流れていました。

69年前原原子ばくだんが落とされ、大やけどをした人達がたくさん逃げだして、この川に飛び込んで亡くなったのだそうです。とても、悲しいことだと思いました。

公園のベンチで、すずめにパンをあげているおじさんがいました。おじさんは、わたしにもパンをあげさせてくれました。パンをギュー

きつての分科会でした。被曝したであろう女学生が広島の人々に希望の火を灯すようにと鳴らし続けたことを思うと「今の平和」があるのは、沢山の人の犠牲の上にある「平和」なのだ、胸がいっぱいになり、あの戦争を再び繰り返してはならないと更に決意を固くした日でした。

日まで開かれました。「戦争か、平和か」が問われる情勢の中で、子連れの若いママたちの参加が目立ちました。特に、2日目の分科会は「被爆電車にのって」の動く分科会でしたので、子どもたちが多く、説明員さんの話を聞きながら車窓に見いっていき、今も2台の被爆電車が現役で広島を走っています。

焦土と化した広島を、女学生が「チンチン」と電車の鐘を必死で鳴らし走った当時の電車を貸し

集団的自衛権と憲法9条は 共存出来ない

老健ほくもう 千明 友彦



分科会では、「許すな集団的自衛権 まもろう憲法」に参加しました。

集団的自衛権という曖昧で難しい内容に対しても参加者から質疑応答や草の根運動の報告が相次ぎ、参加者の知識・関心がとても高いことがうかがえました。分科会で印象的だったこと

組合員文化作品展開催

8/7~8



例年よりも多い121人、184点の出展がありました。班会や運営委員会で作った作品など各支部力作が揃いました。

平和映画

『ひまわり』

～沖縄は忘れない あの日の空を～

8/7



昼の部、夜間の部合わせ809人が平和について考えるひとときを過ごしました。

小さいけれど 今なにができるのか

老健ほくもう 富岡 一也



日本が戦争に参加できる国になるばかりか、戦争をしかけられる国になる危険性を持つことを確認しました。

また分科会の中で過去のイラク戦争への自衛隊派遣の際に日本政府が日本の自衛隊員用の棺を10個持参したという話も印象的でした。

今回の参加を通して、難しい内容もありましたが、難しいから分らないではすまされない一大事が断行されようとしていると危機感を感じ、平和の大切さを改めて感じ、より一層の当事者意識を持つ必要があると感じました。

その被爆された方は伝えることをずっと拒んできましたが、原爆の恐ろしさを実際に体験し、伝えられる世代は私達で最後だと思

広島について感じたことは海外からの参加者と若い人の多さでした。地元の高校生が積極的に署名活動をしていて、その数の多さに驚きました。

5日の分科会では青年の広場に参加して、少人数でのグループワークや被爆者の話を対話方式で聞くことが出来ました。

その被爆された方は伝えることをずっと拒んできましたが、原爆の恐ろしさを実際に体験し、伝えられる世代は私達で最後だと思

その被爆された方は伝えることをずっと拒んできましたが、原爆の恐ろしさを実際に体験し、伝えられる世代は私達で最後だと思

武器作りをして空爆に怯えながら毎日過ごしていたと言います。

平和な時代に生まれてきて平和のことなど考えた事もありませんでした。

しかし、人間は自分勝手な生き物です。自分の私利私欲のために戦争をし人間に限らず多くの命を奪い、破壊します。

平和な世界は人類の願いです。平和とは人それぞれで考え方も違います。願うだけでは何も変わらない、まずは行動する。小さいけれど今なにができるのか自問自答し様々なボランティア活動や勉強会に積極的に参加し少しでも多くの人に伝えていきたいと思

3日間でしたが、貴重な体験をする事ができました。

3日間でしたが、貴重な体験をする事ができました。

医療講座



福島・相双地区の精神医療活動

精神科医師 鈴木 繁

福島第一原発は、福島の相双地区にあります。福島県は、会津、中通り、浜通りに分かれ、浜通り南のいわき市を除いた浜通り北の7市町村が相双地区です。「相」は相馬市から、「双」は双葉町からとられたものです。

事故の際、精神科病床を有する病院5つは、避難命令により閉鎖され、約800人の精神科入院患者は県内外の病院に移送されました。クリニックは3つありましたが、一旦機能を停止しました。薬も手に入らないう状況で、福島県立医大を中心に「福島医大こころのケアチーム」がつくられ、3月末に公立相馬総合病院に臨時精神科外来が新設されました。

その後、訪問サービスとクリニックを作り上げる活動が始まり、そこに全国から支援の輪が広がりました。12月、NPO「相双に新しい精神科医療保険福祉システムをつくる会」が立ち上げられ、それまで精神科医療施設を全く持たなかった相馬市に「相馬広域こころのケアセンター」が開設されました。このように、メンタルクリニックなごみと連携し、アウトリーチ主体の地域精神保健福祉事業が展開されてゆきます。

震災1年後、県の委託のもと「震災対応型アウトリーチ事業」が公的に発足します。仮設住宅や借り上げ住宅で生活する被災者、精神疾患当事者・家族、地域住民など相双地区の人々の精神保健および福祉を守ります。

アウトリーチ発祥の地は、英国です。医師、看護師、精神保健福祉士、薬剤師、相談支援専門員、当事者らが多職種で、休日・夜間を問わず、相談を受け入れ、当事者のいる家庭・地域を訪問します。治療に乗っていないケースでも訪問し、悪化や入院を防止します。

第5回ELMO(エルモ)キャンプの報告

医学生担当 小金澤夕姫

ELMOキャンプが8月23、24日に昭和村の赤城山間学園で開催され、大学生や病院職員、地域の方々など合わせて38名が参加しました。ELMOは、医学的観点に基づいたグループワーク・プログラムを通して、相手を「信じる・思いやる・支えあう」といった心の成長課題を感覚として習得することを目的としています。ELMOには集団行動が苦手だったり、気持ちを上手に表現することのできなかったりする、いわゆる発達障がい児も参加します。ELMOではそれらを一つの個性として受け入れ、障がいも健常も関係なく、グループで様々なゲームで遊びながら人としての心の骨組みを学びます。

今回で5回目を迎えたELMOキャンプ、いつも以上に子どもたちの成長が光りました。思い通りにならないと感情が抑えられなかった子が必死にグループに貢献しようとしていたり、子どもたち同士でお互いを気遣い合ったり。「この子はきっとできる」。周りの大人たちがそう信じて尊重してあげれば子どもは誰でもと成長する、1泊2日という限られた時間の中でもそんな風に感じられました。

実は、ELMOはそのような子どもたちの成長を通して、何より私たち大人が成長できるすごいプログラムです。固くなった頭を柔らかくして、学生とともに今回のキャンプでの学びを深め、次に活かしていきたいと思えます。



2014年度健康チャレンジ達成

私は健康のために歩いた

小野上支部 飯塚 春枝



私の家では愛犬のソイヤんと、チーちゃんを飼っています。犬はお父さんの犬なのですが、一昨年の6月8日に左内腸骨動脈瘤破裂のため緊急手術をし、11月14日に労作性狭心症の手術をしたことで体力が無く病弱になってしまい、私が朝と夕の散歩をしなければならなくなりました。そんなきつかけで歩くようにな

り、私は1日どのくらい歩いているのかな? と思いついて万歩計を身につけて歩くようになり、今日は何歩歩いたのかな! と毎日万歩計を見るのが楽しみになりました。

私の住んでいる地域は山で坂道が多く、田んぼの水を見るのも道が細く車では行けないので歩いて行くことになりました。犬の散歩をしながら坂道を上ったり下りたりしながら行っています。この地域では田んぼと言えども棚田なので歩くのは大変です。水を掛けられ

ば今度は止めに行く往復になり嫌になる事も多々あり、『平らな所にある家はないな!』なんて思ったりした事もありましたが、いざ朝早く歩くと、色々な出会いがあります。可愛い花が咲いていたり、イノシシが荒らした跡があちこちで見られたり。

そんな時に運営委員会で健康チャレンジの話がありました。私には無理だなど思い、やれるかどうか迷いました。それでも1日1万歩を目標にして歩くことを毎日頭に置き、いつもは車に乗って配っていた「くらしと医療」も歩いて行くことにし、友達と買い物や外出する時も坂道を下り国道まで歩いたりします。山道なので地元の人が通ると乗せてくれると声を掛けてくれますが、『私は健康のために歩いているんだよ』と言って断わり歩くようになりました。今までは楽な方にと考えていましたが、何事も自分の健康のため歩くように心掛け、身体を動かすようにしています。

歩くことでご飯もおいしく食べられ夜も床につけば早々に寝てしまいます。朝も早く起き、『今日も頑張って歩こうかな!』という気持ちで1日がはじまります。

班会特集

《8月班会開催一覧》

支部名	班名	人数	班会内容
八木原	北合同	4	レインボー体操
	南合同	9	レインボー体操
吉岡	コスモス	12	健康体操
豊秋	西浦	6	ハーモニカ演奏
	中村前田	6	脳トレーニング
市街地	合同	12	富士見峠、12旅団、行幸田ソーラー見学
子持	けやき	3	熱中症について
小野上	小野上合同	17	吉野先生医療懇談
榛東	新井	4	憲法学習



▶ 8/20 市街地合同班会行幸田ソーラー発電所見学



◀ 8/4 豊秋西浦班会ハーモニカ演奏の様子



◀ 8/4 吉野先生を囲んでの小野上合同班会

